



北海道大学総合博物館主催 卒論ポスター発表会の開催について（お知らせ）

開催概要

卒論ポスター発表会は、総合博物館が展開する独自の教育プログラム「ミュージアムマイスター認定コース」の一環として毎年開催しています。文系・理系の枠を超えて集まった北海道大学の学部4年生が卒業研究を1枚のポスターにまとめ、会場を訪れた方々に向けてわかりやすく発表します。

会期中に訪れた方々に審査投票していただき、最も投票数が多かった学生には来館者賞が授与されます。また、学内外から選定された審査員が「研究のクオリティ」「研究のオリジナリティ」「ポスターのデザイン」「コミュニケーション能力」の観点から評価し、最優秀賞を含む各賞が決定します。

本発表会では発表はもちろんのこと、リーフレットの制作や司会進行などの運営も学生が主体となって進め、授業や普段の学生生活では味わうことのできない貴重な社会体験の場となっています。

今年度は総合博物館のリニューアルで1階北側に新設された「知の交差点」エリアで開催します。併設されているカフェを利用しながら、気軽に北大生の研究に触れることができる機会です。

皆様の1票で来館者賞が決まります。ぜひ総合博物館にお越しください。



昨年度の様子

日時：2017年3月4日（土）・5日（日） 10:00～16:00

会場：北海道大学総合博物館 1階「知の交差点」エリア

（札幌駅北口より徒歩約15分、地下鉄12条駅より徒歩約10分）

※本学では、構内への車両乗り入れを規制しています。

バス・地下鉄などの公共交通機関のご利用をお願いします。

参加費：入場無料・申込不要

発表者・ポスタータイトル

1. 會澤 拓磨（工学部環境社会工学科）
「スイス・チューリッヒ市における Gestaltungsplan を用いた都市デザイン手法特徴」
2. 熊野 舞香（農学部応用生命科学科）
「植物におけるメチオニン合成に関する研究—メチオニンを多量に含む豆の作出に向けて—」
3. 榎枝 竜之介（理学部地球惑星科学科）
「北海道，滝川単成火山群及び暑寒別火山の岩石学的研究
—島弧会合部におけるマグマの時空変遷—」
4. 佐々木 駿（農学部応用生命科学科）
「進化的に保存された植物 uORF の機能解析」
5. 林 泰佑（工学部環境社会工学科）
「北海道旭川の都市形成過程」
6. 辻 ゆり（文学部人文科学科）
「フランス革命期における，パイプオルガンの使われ方の変化と保存活動」
7. 久保 孝太（理学部 地球惑星科学科）
「恐竜類の走行能力適応—ダチョウ型恐竜の走行能力と中足骨の進化—」
8. 下山 花（農学部生物資源科学科）
「ダットンソバの果皮形態」
9. 山縣 彩（工学部環境社会工学科）
「スイス・バーゼル市における Bebauungspläne を用いた都市空間デザインの手法の特徴」
10. 山内 洋輔（農学部応用生命科学科）
「緩急のあるたんぱく質合成
—連続する塩基性アミノ酸配列でリボソームは翻訳を一時停止する—」
11. 佐々木 蓉子（文学部人文科学科）
「奈良美智作品における人形の意味—現代アートと人形—」
12. 松尾 良子（理学部地球惑星科学科）
「南西北海道，火山群の最新の火山活動—イワオヌプリ火山の火山地質学および岩石学研究—」
13. 羽田 崇人（工学部環境社会工学科）
「設計者・審査委員・施設管理者の公共建築に対する認識の共通点と相違点
—公共建築賞受賞作品（北海道地区）を事例として—」
14. 菅野 厚志（農学部生物資源科学科）
「北海道固有とされている絶滅危惧植物は本当に北海道固有であるのか？
—ウルップソウ属について極東ロシアの種を含めた遺伝解析による検証—」

15. 江口 剛（水産学部海洋資源科学科）

「魚群遊泳による後流域発達と遊泳時エネルギー」

16. 永森 彩奈（農学部応用生命科学科）

「植物の窒素代謝を行うタンパク質複合—ACR11-Fd-GOGAT の構造と機能をさぐる—」

※ポスタータイトルは変更する場合があります。

お問い合わせ先

北海道大学総合博物館（理学・生命科学事務部事務課 博物館担当）

TEL : 011-706-2658 FAX : 011-706-4029 E-mail : museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp